



## 須藤克三賞において学校賞受賞

須藤克三賞は、南陽市（旧宮内町）出身の教育者・児童文学者、須藤克三（すとうかつぞう）氏の功績を称え設けられた賞で、読書感想文や詩など4つの部門が設けられています。今年度の第39回須藤克三賞においては、生徒の澄んだ心で表現された作品が高く評価され、本校から7名の生徒の作品が入賞し、学校賞もいただきました。今回の受賞を励みとし、今後もさらに表現力の向上に向け指導にあたっていきます。受賞者を紹介します。



- 【 作文 】 最優秀：山口絹心さん（3年）、優 秀：佐藤柚香さん（2年）  
【 詩 】 最優秀：武田莉奈さん（2年）、優 秀：高山絢菜さん（2年）  
【読書感想文】 優 秀：山崎里咲さん（3年）、優 秀：佐藤愛粋さん（2年）  
【創作童話】 優 秀：遠藤玲奈さん（2年）

## 生徒のさらなる進化・成長へ

2月4日（水）、今年度第2回目の学校運営協議会「赤湯中学校の教育を耕す会」が行われました。学校運営協議会とは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に定められた組織で、学校運営への必要な指導や支援に関して協議する機関です。委員の皆様には、給食試食会・生徒活動発表会からご参加くださり、5時間目の授業を通覧していただきました。その後の協議では、今年度の成果と課題を、学習状況等をもとに説明しました。委員の皆様からいただいたご意見やご助言は職員と共有し、生徒のさらなる成長につなげて参ります。以下に、そのご意見やご助言の中から一部を紹介します。



### 学力向上の視点

- ・学力を上げようとする子どもと教員の雰囲気づくりが大事。
- ・学力向上には本物に触れることが大切。体験が深い学びにつながる。
- ・AIに頼るのではなく、どう活用するか（できるか）という視点を持ち考えることが必要である。
- ・基礎がないと応用がきかない。基礎基本の強化が必要。数学・理科を頑張ってもらいたい。
- ・起業家精神育成では、第2の人生を生きている人から学べる機会があるとさらによい。
- ・子どもの意見と向き合い、みんなで取り組むことが大切。校内体制の強化を。

### 生徒の様子

- ・授業の雰囲気が良かった。
- ・地域での赤中生の姿がいい。今後も地域行事に積極的に参画し盛り上げていただきたい。
- ・ボランティア活動（レモネードスタンドやねぶた絵など）に多く参加していることがすばらしい。継続していくことを期待している。

## 生徒と会食する給食試食会を開催

2月4日(水)、学校運営協議会委員の皆様と、職場体験でお世話になった幼児施設の施設長や地域の方など17名の方にご参加いただき、給食試食会・生徒活動発表会を行いました。昔を思い出しながら生徒と楽しく会食していただきました。瓶の牛乳だったという方は、生徒に牛乳パックのたたみ方を聞いていました。時代の流れを感じながら、給食への感謝は変わらないとの感想をいただきました。

食後には、2年生の職場体験学習と地域間交流セミナーについて、代表生徒による活動発表会を行いました。職場体験学習については、自分たちがどのような体験をし、何を学んだかを発表しました。幼児施設で体験学習をした生徒は「園児のお世話は、楽しかったが難しさもあった。」と感想を述べていました。また、「地域間交流セミナー」に参加した生徒からは、沖縄に行き、自分の目で見て感じたこと、現地の人から学んだことの発表がありました。最後に、少年の主張県大会で奨励賞に輝いた3年大浦瑞喜さんの発表「二つの国のかけはしに」を聞いていただきました。参加者からは、生徒の姿を見て、大変温かいお褒めの言葉を頂戴しました。今回発表した生徒のみならず、赤中生の学びや成長は随所に見られます。今後も様々な形で、生徒の活動の様子を発信して参ります。



## 今年度も残りひと月 有終の美を

今年度も残すところひと月となりました。学習面では、各教科大詰めを迎え、定着を図る学習や作品の完成に向けて取り組んでいます。2月9日(月)には3学期の期末テストがありました。点数に一喜一憂することなく、授業はもちろん、家庭学習も含め、自分のテストに対する取り組みがどうだったかを振り返るとともに、1・2年生は3月に行われる実力テストに向けて、3年生は受検にむけて、目標や生活リズムを再確認する必要があります。生活面では、3月16日(月)の卒業証書授与式にむけて、1・2年生は新執行部を中心に装飾等の計画を立て、取り組み始めました。今後も感染症対策を取りながら、有終の美を飾ることができるよう最後まで指導して参ります。

### 自分は大丈夫が一番危険！

赤湯生き方まっすぐネットワーク協議会の講演会が1月28日(水)に行われました。南陽警察署の奥山将さんに「大人も子どもも学ぶ SNS」と題してご講演をいただきました。実際に起きた事例から、子どもも大人も、だれもが被害者になるかもしれない危険性を学びました。家族で話し合い、トラブルの未然防止に努めていくことを再確認しました。



### 「自主・自立」のあくなき追求

校是「自主・自立」を体現する本校生徒の姿を紹介します。

降雪時の朝(7:40)玄関前で除雪をしていた時のこと、登校してきたある生徒が「除雪手伝いますか?」と声をかけてくれました。その後、何人も同じように申し出があり、出勤してきた職員とともに除雪を行い、玄関前はあっという間にきれいになりました。自分たちの学校を自分たちの手でよくしようとする姿勢や先生を助けようとする気持ちが表れていました。



竹田耕平様(烏帽子山千本桜保存会会長)より桜をいただきました。